

オリンピックにむけて（1950～1964） その8

《1963年、田園都市線が着工、第三京浜は建設中―まちづくりビッグバン その3》

まちづくりビッグバンその3として、民間主導で行なわれた多摩田園都市の建設を紹介します。その主な地域は、多摩川の西南部に位置する鶴見川、相模川流域でした。高度成長期前から始動し、オリンピック前後に具体的な展開が始まります。

五島慶太は、1953年（昭和28）、高速道路による都市開発を構想し、「城西南地区開発趣意書」を発表。「厚木大山街道沿い（注1）の溝の口～長津田間に約4.5百万坪（約1,300～1,600ha）の土地を買収して第二の東京を作る」という壮大な構想でした。

また同年、慶太は、渋谷から鎌倉まで、認可を取得していた鉄道の敷設に変えて、優良高速道路（ターンパイク）を造りたいと考え、近藤謙三郎（注2）を東急電鉄顧問に迎えます。謙三郎は、ターンパイクと趣意書を具体化する計画の策定作業に取りかかります。

ところが、開発予定区域を近郊地帯（グリーンベルト）とする首都圏整備法を制定する動きが活性化します。そこで緑で囲まれた4つの小住居都市群（収容人口331千人）を整備することとし、1956年（昭和31）「多摩川西南新都市計画」を発表します。（注3）

この計画では、ターンパイクだけでなく新たな鉄道をも建設し、土地区画整理事業により宅地造成する内容でした。慶太は、1959年（昭和34）、田園都市開発の最初の土地区画整理組合設立後に死去し、事業は、息子の五島昇に託されました。

ターンパイクは、第三京浜（日本初の6車線を有する自動車専用道）として、1961年（昭和36）、道路公団（現NEXCO東日本）が整備することとなりました。オリンピックに間に合わせようと建設が進められましたが、全線開通は、1965年（昭和40）12月16日でした。なお、新多摩川大橋は、1965年（昭和40）11月竣工しています。

新しい鉄道は、東急が田園都市線として、1963年（昭和38）溝ノ口駅（南武線と接続）と長津田駅（横浜線と接続）の区間が着工され、オリンピック2年後の1966年（昭和41）に開通します。

また1964年（昭和39）、渋谷駅―二子多摩川駅間を地下化する新玉川線が着工されています。新玉川線が開通したのは、1977年（昭和52）です。この線も含めて渋谷駅―中央林間駅までが田園都市線となったのは、2000年（平成12）のことです。

田園都市線周辺の宅地造成は、1959年（昭和34）に川崎市の野川と地区画整理組合を皮切りに、順次区画整理組合が立ち上げられ、土地造成されていきました。（注4）

またターンパイクの枝線として横浜市域に構想された開発地域は、後に港北ニュータウン計画（注5）として浮上してまいります。

注1：厚木大山街道は、当時地方幹線道路でした。1956年（昭和31）に二級国道246号として指定されました。川崎市野川土地区画整理組合発足の3年前のことです。

注2：近藤謙三郎（生没年：1897―1975年）は、東京帝国大学土木工学科を卒業し、東京市建設局に勤務。関東大震災直後に帝都復興院に勤務し、その後内務省東京都市計画委員会技師となります。1933年（昭和8）に満州国に転出し、満州国政府直轄の大東港建設局に副局長として転じ、鴨緑江河口港の大東港と人口100万の工業都市安東の建設を指揮監督。1951年（昭和26）首都建設委員会事務局長に就任し、高速道計画案を提示します。1967年（昭和42）に、東急道路株式会社代表取締役社長に就任。

注3：1958年（昭和34）、首都圏整備委員会は「多摩川西南新都市計画については、駅を中心として概ね1kmの範囲内に限り、当該地域を近郊地帯内の『市街化許容区域』とする」との方針を出します。グリーンベルト構想がほころび始めたのですね。

注4：主な沿革（東急HPより）

1953（昭和28）、城西南地区開発趣意書発表（1月）

1956（昭和31）、城西南地区都市計画を多摩川西南新都市計画と改称（6月）

多摩川西南新都市計画マスタープラン発表（7月）

1959（昭和34）、野川第一土地区画整理組合設立（5月）

1962（昭和37）、東光ストア（現：東急ストア）野川店開業（11月）

1963（昭和38）、多摩田園都市と命名（10月）田園都市線工事着手（10月）

1964（昭和39）、新玉川線工事着手（2月）

1966（昭和41）、ペアシティ計画発表（3月）「溝の口～長津田」開通（4月）

1967（昭和42）、こどもの国線開通（4月）

1968（昭和43）、「長津田～つくし野」開通（4月）

1969（昭和44）、横浜市に緑区誕生（10月）

1972（昭和47）、「つくし野～すずかけ台」開通（4月）

1973（昭和48）、アミニティプラン多摩田園都市策定（8月）

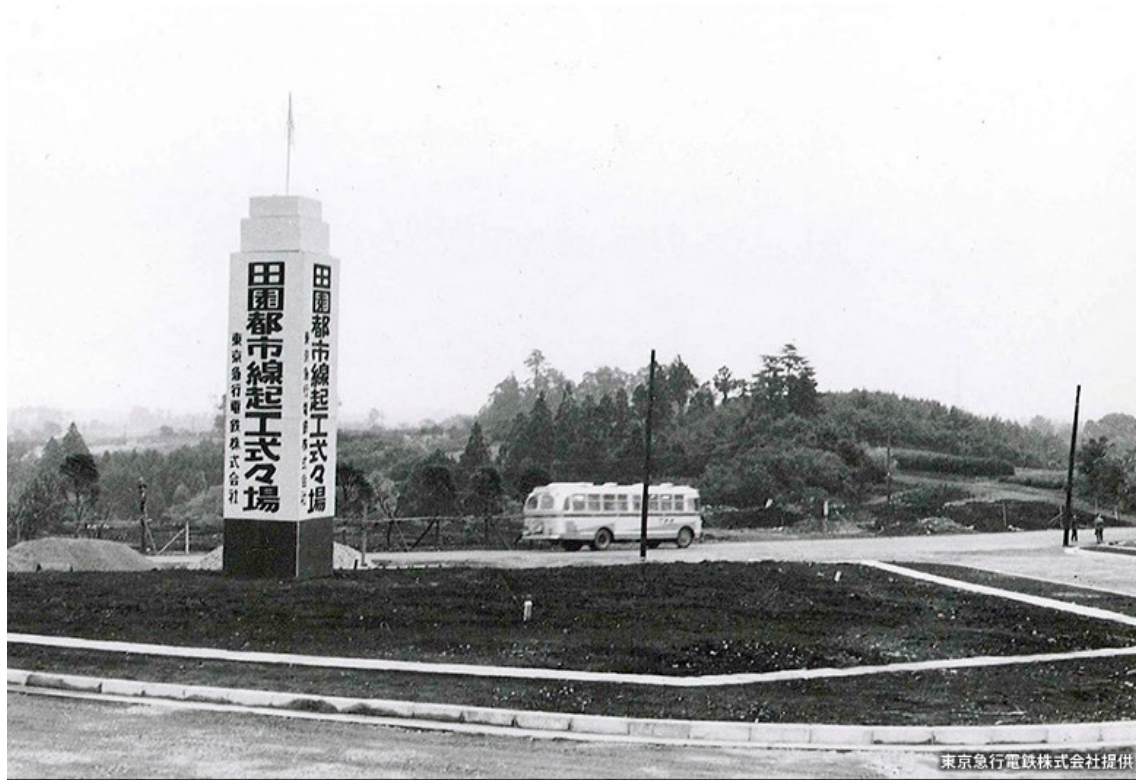
1976（昭和51）「すずかけ台～つきみ野」開通（10月）

1977（昭和52）、新玉川線開通（4月）あざみ野駅開業（5月）

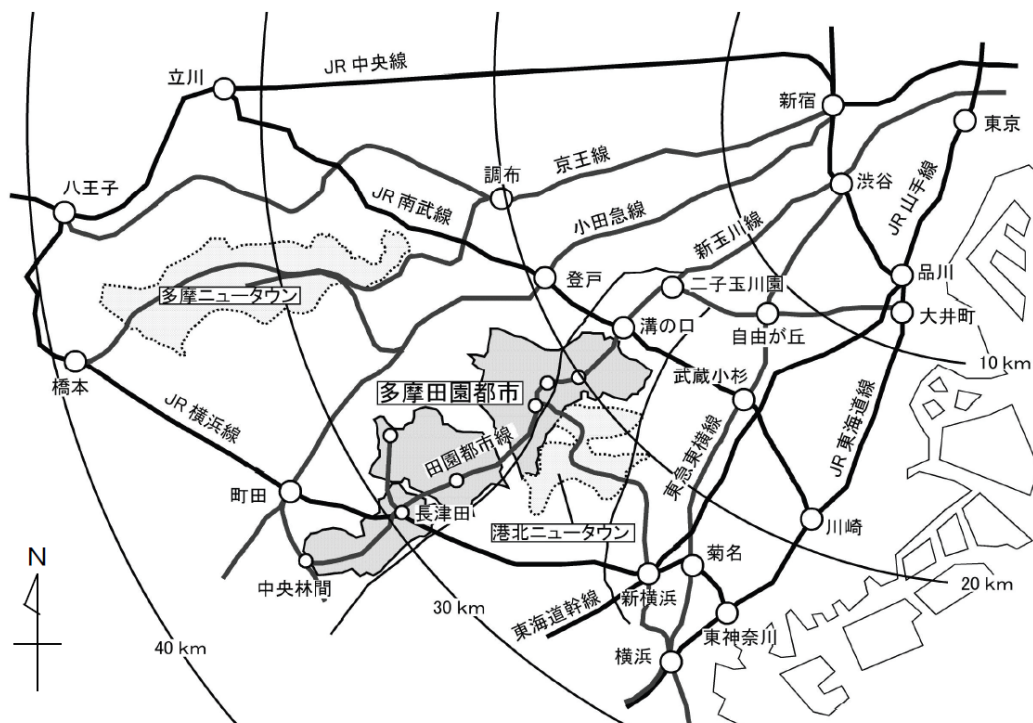
1978（昭和53）、東急嶮山スポーツガーデン開業（7月）

注5：港北ニュータウン計画は、1965年（昭和40）飛鳥田横浜市長が提案した横浜6大事業に端を発して具体化していきました。

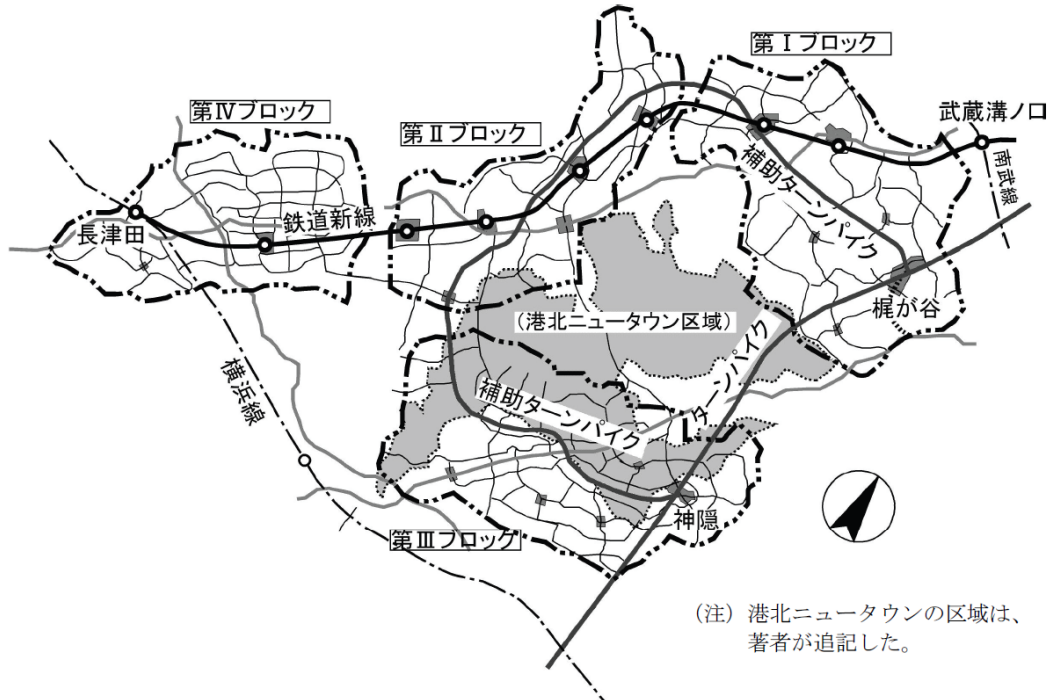
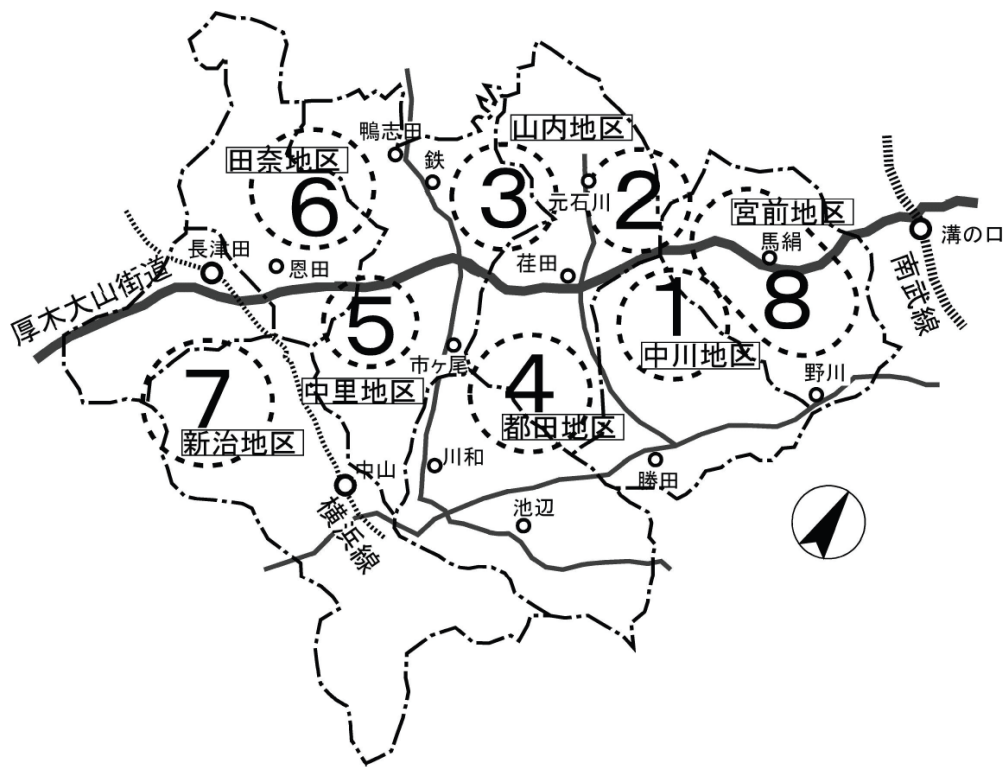
写真は、①多摩田園都市の位置図、②城西南地区開発趣意書の附図、③多摩川西南新都市計画の図（①、②、③は、論文「組合土地区画整理事業によって作られた民間開発郊外住宅地に関する研究：多摩田園都市を事例として」石橋登著）、④第三京浜と高速道路、主要幹線道路の位置図（Blog「@新横浜」掲載資料より）、⑤新多摩川大橋（Blog「多摩川ツーリング」掲載写真より）、⑥鷺沼駅近くの田園都市線起工式の看板（三井トラスト不動産HP「このまちアーカイブス」掲載写真）



東京急行電鉄株式会社提供



多摩田園都市の位置



(注) 港北ニュータウンの区域は、
著者が追記した。

多摩川西南新都市計画 (資料：東急電鉄、1956 年)

